

## 出会いはすべてを変える

弘前大学教育学部附属小学校

葛 西 華那心

「成功か失敗どちらを選ぶか」もちろん成功を選ぶ。失敗はかっこ悪いし、成功はみんなからほめられ、認められるから嬉しい。そんな私の考えは、エディのおかげで立ち止まり、見直す機会になった。

「みんなはできて、自分だけができない」こんなつらいことはない。友だちといても、ひとりぼっちで自信もなくなる。先生や家族にも、あきれられてしかられる。もう農夫をやるしかないんだ。そんなエディを支えたのは、世界一がんばり屋さんのヘレンと絶対あきらめないベルさん。二人が「きみはかっこいい子」とほげまし、信じて期待してくれたから、苦手な文字も暗記するまで取り組むことができた。大勢の人が言う事より、自分が信じる人の期待を裏切りたくない。弱音を吐きたくなる所をぐつと我まんするように変わった。

わたしは「マイ、ルール」を作って自分勝手に決めて、友だちから苦情を言われたり、先生や家族からしかられる事がある。自分では良いと思った事が自分勝手になってしまっ

しい。しかられるとつらい。わたしはベルさんの「まずはできた事を喜ぶ。そして失敗はくよくよしない」という言葉になくさめられた。自分で考え、行動した事は良いが、残念ながら正しい判断ではなかった。次は同じ誤りはしない。考え方で、失敗も次への新しいちよう戦へときり変わる。失敗を積み重ねることで、私は成長し続けていると気づいた。納得して、次に進む事は大切だ。

そして、私がこれから探したいと思った事は、途中で投げ出さずがんばり続けられるほど好きなものを見つけること。エディは本のさし絵だけではわからないから、書かれている文字を読みたかった。だから辞書を引く努力をした。絶対にわかると決意するものが私にはない。できない事を努力し続ける事は難しい。好きな事のためにがんばり続ける何がほしいと思った。

でも私は根気が続かない。やはり、ひとりでやれる事には限界がある。つい無理と思ってしまう。自分の心が弱くなっ

た時に、ヘレンやベルさんのような友だちは大切だ。私は友だちにはめぐまれている。言葉で話さなくても、その人ががんばっている姿を見ると、私も気持ちが悪く動く。し激をもらって自分でやろうと思った以上の力を出す事ができる。

私は失敗もそう悪い事ではないと気づいた。うまくいかな

い事や自分の弱い点を振り返って考える機会になるとわかった。そして、友だちと関わる中で、強くなったり成長したりしていくと教えられた。「まだがんばれる。もっとやれる。」と自分に言い聞かせながら成長していきたい。